

令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果分析シート (国語科)

平均正答率	三成小	広島県	全国(公立)	全国比
	64.0	69.0	66.8	-2.8

課題 (○問題の概要・趣旨)	分 析	指導計画
○【ちらし】の二重傍線部を、【調べたこと】を基に詳しく書く。 正答率：42.9 (県 64.5 全国 61.3) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。	- 複数の資料を活用、関連付けることができていない。 - 条件に合わせた解答ができていない。 - 書かれた内容を理解し、自分なりに書くことができていない。 - 相手意識	- 複数の資料を関連付けて考える場面の設定 国語科→他教科での活用 思考ツールや矢印などを用いたまとめ方の指導 関連付ける資料の数を徐々に増やす - 根拠を明確にして考えをもたせる指導 物語文でも 叙述を根拠にして
○【話し合いの様子】の田中さんの発言の空欄 A に当てはまる内容として適切なものを選択する。 正答率：28.6 (県 41.3 全国 40.8) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。	- 複数の資料を活用、関連付けることができていない。 - 資料の読み取り…何について 何を考えるときに使えるか 情報の取捨選択	- 条件に合わせて書く 授業のまとめ…キーワードとなる言葉が書けているか 日記など友達の文章に触れる機会 書き方の型（構成）を教える 手本をまねることから始める - 自分の文章を推敲する場の設定
○【資料 1】を読み返して言葉の変化について自分が納得したことを、【資料 2】、【資料 3】、【資料 4】に書かれていることを理由にしてまとめて書く。 正答率：51.0 (県 61.9 全国 56.3) 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。	- 大事な言葉を抜き出すことができていない。 - 自分の考えの根拠となる情報の選択 - 自分の文章を推敲する力が弱い。 助詞や言葉の使い方 - 書く際の相手意識	一読で内容を捉える 文章を読む機会を増やす 読書 大事な言葉や文に線 書かれていることを伝え合う場
○【資料 3】を読み、【木村さんのメモ】の空欄イに当てはまる内容として適切なものを選択する。 正答率：46.9 (県 52.6 全国 51.3) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができるかどうかをみる。	まとめ方の理解が不十分 要点をつかむ力の欠如 一読で内容の大体を理解することができない。	語彙力、言葉の力を高める 辞書の活用 読書活動の推進

令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果分析シート (算数科)

平均正答率	三成小	広島県	全国(公立)	全国比
	52.0	59.0	58.0	-6.0

課 題 (○問題の概要・趣旨)	分 析	指導計画
○角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ。 正答率：63.3 (県 80.9 全国 79.3) ・角の大きさについて理解しているかどうかをみる。	・角に関する基礎的な知識・技能の未定着	・基礎的な知識・技能の定着 体験的に学ぶ授業展開 作業・活動場面を増やす 活動の目的を明確に ・繰り返し練習 手順の定着 作図等、手順の説明 (ペア) ・説明する場の設定 様々な方法での説明を経験させる 友達の考えも説明できるように、様々な考え方に触れさせる 「○○○・・・」続きを説明 など ・数や式が何を意味しているのかを正確に捉える 図に表す 言葉・文と数字・式を結び付ける
○示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ。 正答率：44.9 (県 60.7 全国 58.3) ・平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる。	・図形の定義や作図に関する基礎的な知識・技能の未定着	
○五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く。 正答率：22.4 (県 37.4 全国 37.0) ・基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。	・題意を捉えることができていない ・条件に合う解答ができていない ・多角形は、三角形、四角形に分けて考えると面積を求めることができる→図形の見方・考え方△	
○使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く。 正答率：38.8 (県 50.1 全国 48.7) ・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見出し、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる。	・問題解決の方法とそれを説明する力の不足 式と言葉を関連付けて説明する力△ 数の意味理解が不十分 相手に伝える説明になっていない (他者意識に欠ける) 論理的思考力△	

令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果分析シート (理科)

平均正答率	三成小	広島県	全国(公立)	全国比
	46.0	59.0	57.1	-11.1

課 題 (○問題の概要・趣旨)	分 析	指導計画
○海にある氷がとけることについて、水が氷に変わる温度を根拠に予想しているものを選ぶ。 正答率：34.7 (県 61.1 全国 59.8) ・水が氷に変わる温度を根拠に、オホーツク海の氷の面積が減少した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる。	・問題を読む力の不足 ・学習を生活と結びつけることができていない 既習内容 (前の単元) 単元内 生活の中	・生活に結びつける学習の工夫 単元の導入・終末 単元構成の工夫 新聞の記事の活用 ・実験の手順を定着させる 基本的な実験の流れを示す 毎回、同じ流れでノートに書かせる 比較実験の方法を理解させる ・実験の工夫 一人一人が自分でやる場 試行錯誤する場 正解・説明書を提示せず、まずはやらせてみる 実験キットの活用の検討
○海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ。 正答率：46.9 (県 67.4 全国 65.6) ・「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる。		
○レタスの種子の発芽の結果から、てるみさんの気づきを基に、見出した問題について書く。 正答率：16.3 (県 36.9 全国 29.9) ・レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現することができるかどうかをみる。	・比較実験の仕方・鉄則が理解できていない 条件制御の仕方	・理科用語の定着 理科用語を用いて説明・まとめ ・まとめる力の向上 他教科でも 科学的な見方・考え方を育てる工夫 生活の中で
○電気を通す物と通さない物でできた人形について、人形 A の剣を人形 B に当てたときだけ、ベルが鳴る回路を選ぶ。 正答率：24.5 (県 44.4 全国 42.9) ・電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができるかどうかをみる。	・基礎的な知識・技能が定着していない	

課 題 （○問題の概要・趣旨）	分 析	指導計画
○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップ A の土の量と水の量から、コップ B の条件を書く。 正答率：63.3（県 82.1 全国 79.5） ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができるかをみる。 ○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをまとめたわけについて、結果を用いて書く。 正答率：46.9（県 66.1 全国 60.5） ・赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができるかをみる。	・実験方法の理解が不十分 条件の整え方…比較するときの条件制御 結果から考察する力の不足…考え 説明力	

全体に関わって

※問題を読んで、問われていることを理解する力が弱い。→国語の力（語彙力・言葉の力、一読で内容を捉える力、文章を正しく読む力など）

国語科の授業を中心に、日々の教育活動の中で、まずは国語力を向上させていく。

※条件に合わせて書く力が弱い。自分なりの考えをもたせ、自分の言葉で表現する場をどの教科でも設定していく。

文章構成、言葉（日本語）に敏感な子供にする。→そのためには、指導者が敏感に

※全国学力・学習状況調査にどれだけ関心がもてているか。

自分（達）の日々の指導がどうだったのか、子供達に力が付いているのかいないのか、教育の機会均等を保障する責任があることをしっかりと認識する。

問題を通して、どんな力を身に付けさせていく必要があるのか（国が求めている学力）、ということを考える。